

2014年3月期 第3四半期決算説明資料

2014年1月24日



<http://www.gendai-a.co.jp> JASDAQ:2411

C o n t e n t s

P2 ・第3四半期 損益計算書（連結）
P3 ・事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 ・第3四半期 損益計算書
P6 ・四半期売上高の推移
P7 ・品目別売上高の推移
P8 ・従業員の状況

【不動産事業】

P10 ・第3四半期 損益計算書

P11 ・第3四半期 連結貸借対照表
P12 ・2014年3月期 連結業績予想と進捗状況

第3四半期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	3Q累計期間	構成比	前年3Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	13,082	100.0%	13,509	100.0%	96.8%
営業利益	1,355	10.4%	1,373	10.2%	98.7%
経常利益	1,380	10.5%	1,377	10.2%	100.2%
純利益	853	6.5%	860	6.4%	99.3%

- パチンコホール業界では、個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いておりますが、大手法人を中心とした積極的な新規出店も見られる等、明るい兆しもありました。
- こうした環境下、主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため、取引顧客店舗数の更なる増加に向けて取り組んでまいりました。
- しかしながら、イベント広告規制強化の影響による広告需要の消失を穴埋めするには至らず、結果、当第3四半期の売上高は13,082百万円（前年同期比▲3.2%減）、営業利益は1,355百万円（同▲1.3%減）、四半期純利益は853百万円（同▲0.7%減）となりました。

事業の種類別セグメント

当第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	12,931	151	-	13,082
セグメント利益	1,615	53	▲313	1,355

前年同期比

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	▲469	+42	-	▲427
セグメント利益	▲28	+10	▲1	▲18

- 当第3四半期における売上高は、イベント広告規制の影響もあり前年に対し、売上高では▲427百万円の減収、またセグメント利益も▲18百万円の減益となりました。

広告事業

第3四半期 損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

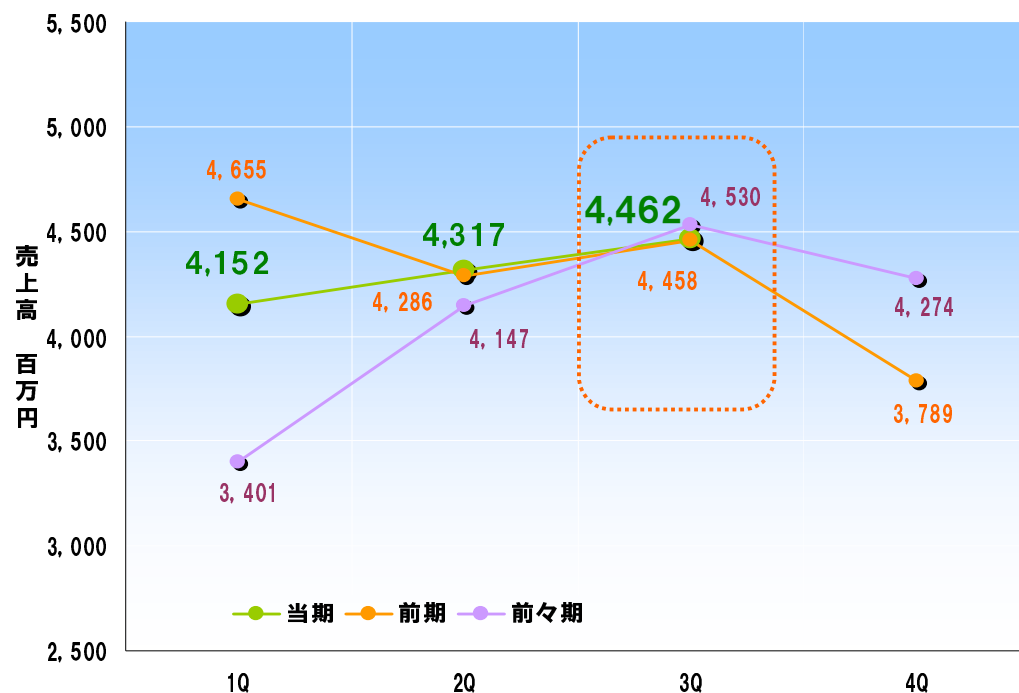
広告事業	3Q累計期間	前年3Q累計期間	前年同期比
売上高	12,931	13,400	96.5%
営業費用	11,316	11,757	96.2%
セグメント利益	1,615	1,643	98.3%

- 当第3四半期連結累計期間のホール広告市場は、一昨年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について（通知）」を受け、引き続き広告需要は低迷する状況にありました。
- こうした環境下において、
 - ・大型案件獲得に向けた広告提案活動を強化し、新規出店告知案件や大規模改装案件の受注獲得を推進
 - ・一部遊技機メーカーからの受注を新たに獲得
- これらの取り組みにより、顧客基盤の拡大を図ることができたものの、広告規制強化に伴う広告需要の減少を埋め合わせるまでには至らず、売上高は12,931百万円（前年同期比▲3.5%減）となりました。また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は1,615百万円（同▲1.7%減）となりました。

四半期売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,152	4,317	4,462	—	—
前期	4,655	4,286	4,458	3,789	17,188
前々期	3,401	4,147	4,530	4,274	16,352

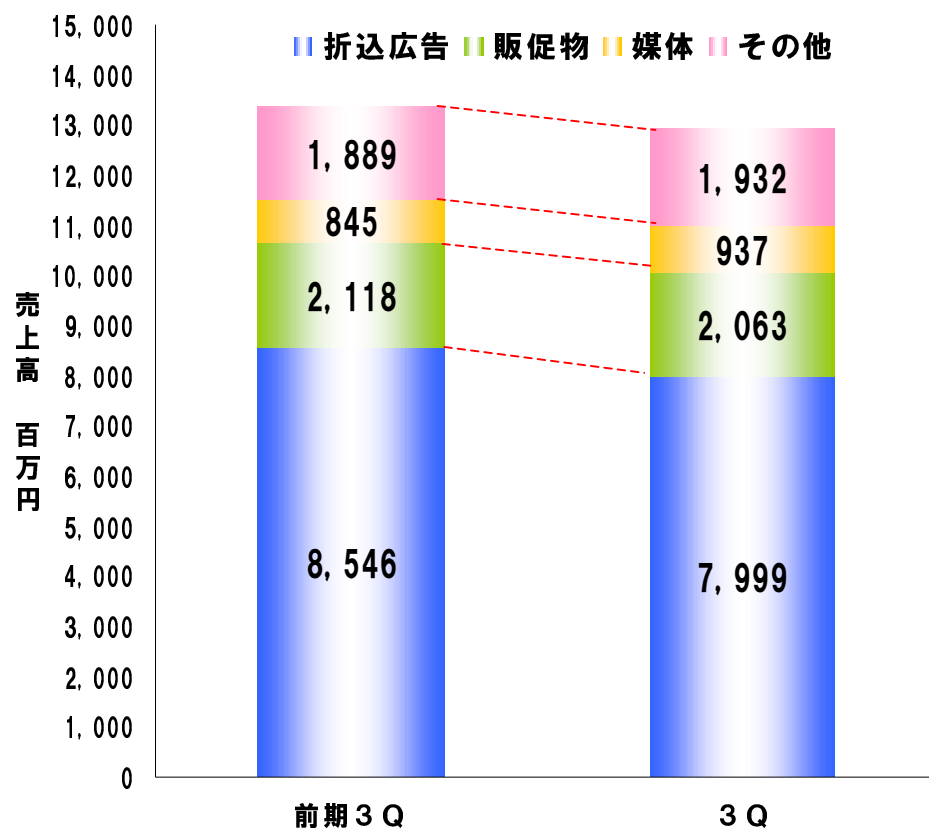


■ イベント広告規制の影響があったものの、新規出店告知案件や、一部メーカー案件の獲得等もあり、前年同期比では増加しております。

品目別売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

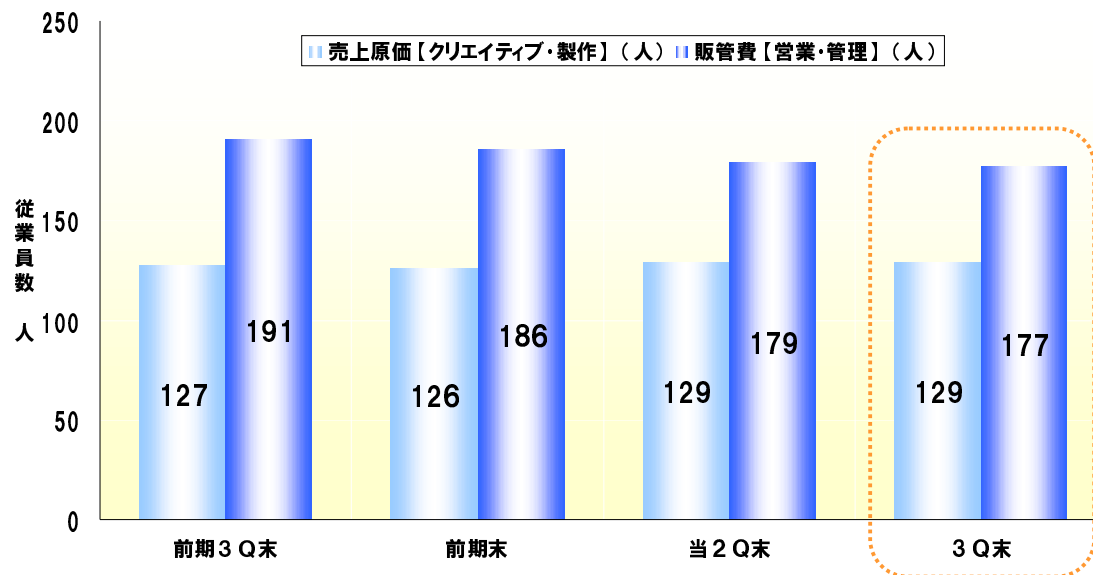
		3Q	構成比	前期3Q	構成比	前年同期比
売上高合計	折込広告	7,999	61.9%	8,546	63.8%	93.6%
	販促物	2,063	16.0%	2,118	15.8%	97.4%
	媒体	937	7.2%	845	6.3%	110.8%
	その他	1,932	14.9%	1,889	14.1%	102.3%
		12,931	100.0%	13,400	100.0%	96.5%



■ イベント広告規制の影響もあり、
折込広告は前年同期比で▲6.4%
減少しております。

従業員の状況（広告事業）

	前期3Q末	前期末	当2Q末	3Q末
売上原価【クリエイティブ・制作】（人）	127	126	129	129
販管費【営業・管理】（人）	191	186	179	177
広告事業計（人）	318	312	308	306



■ 前期末より従業員は
6名減少しております。

不動産事業

第3四半期 損益計算書（不動産事業）

（単位：百万円）

不動産事業	3Q累計期間	前年3Q累計期間	前年同期比
売上高	151	109	138.0%
営業費用	98	66	148.5%
セグメント利益	53	43	125.1%

- 当第3四半期においては、既契約で継続中の賃貸案件2件のほか、5件の売買・賃貸仲介案件（41百万円）を成約いたしました。その結果、売上高は151百万円（前年同期比38.0%増）となり、セグメント利益は53百万円（同25.1%増）となりました。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 (A)	3Q末 (B)	差額 (B)-(A)	
現金及び預金	4,012	3,357	▲654	・・・①納税、配当等による 現金及び預金の減少
受取手形・売掛金	2,094	2,685	591	
その他流動資産	133	160	27	
有形固定資産	861	865	4	
無形固定資産	69	37	▲32	
投資その他資産	720	862	142	
資産合計	7,891	7,970	78	
支払手形・買掛金	1,146	1,461	315	
短期借入金	100	100	-	
1年以内返済予定の長期借入金	368	234	▲134	・・・②長期借入金の返済による減少
未払法人税等	558	212	▲346	・・・③未払法人税等の減少
その他流動負債	239	218	▲21	
長期借入金	426	300	▲126	・・・②長期借入金の返済による減少
その他固定負債	28	26	▲2	
負債合計	2,868	2,553	▲314	
株主資本	5,001	5,390	389	・・・④前期末比393百万円の増加 ～主な要因～ ・四半期純利益853百万円 ・利益配当▲464百万円
その他	▲0	6	6	
少数株主持分	22	20	▲2	
純資産合計	5,023	5,417	393	
負債・純資産合計	7,891	7,970	78	

2014年3月期 連結業績予想と進捗状況

(単位:百万円)

	2014年3月期 3Q累計実績	前回発表通期予想(A) ※2013年10月18日発表	進捗率
売上高	13,082	16,850	77.6%
営業利益	1,355	1,670	81.1%
経常利益	1,380	1,670	82.6%
当期純利益	853	1,010	84.5%

- ◆ 当第3四半期連結累計期間の連結業績は、概ね当初計画どおりに推移していることから、通期の連結業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334